

皆さんこんにちは、「リフォームだより」です。
これからの時期、窓ガラスに水滴（結露）が発生しているのを目にする事が多くなると思われます。
身近にみられる現象ですが、この結露を放っておくと、人や建物に悪影響をもたらせます。そこで今回は、結露の発生原因と対策について解説していきたいと思います。

冬に気になる結露 発生する原因と対策

【結露の発生しやすい場所】

- ・ 窓ガラス



- ・ 外部面側の内壁(特に北側)



- ・ 床下



- ・ 押入れの奥



- ・ 家具の裏側など



(室内の湿度が高い場合 ・ 室外と室内の温度差が大きい場合)

【住宅への被害】

窓や壁の結露を放置しておくと、カビが生じ、
壁紙や床板に水分を含んでシミになります。

又、水分が木材や石膏ボードなどの建材を通り抜けて壁内部で結露し
土台や柱などを腐食させることになり、住宅の耐震性・耐久性を大きく落としてしまう
ことになります。さらに湿った木材はシロアリの被害を発生させます。

【人への被害】

結露を放置しておくと、濡れた部分からカビが生じ、
そのカビを餌にダニが発生します。

それにより、喘息やアトピー性皮膚炎、シックハウス症候群などの
症状を引き起こす可能性が有ります。

【結露を防ぐ方法】

- ・ 温度の低い所をつくらない（室内で極端に冷えている場所を作らない）
- ・ 家具の周りや押入れなどは、空気が移動する様に隙間をあける。
- ・ 温風(暖房)を、まんべんなく室内に行き渡るようにする。
- ・ こまめな換気（料理中・部屋干しは特に注意する。）
- ・ 水蒸気を取り除く(除湿器や除湿剤を使う。石油やガスを使用したストーブやファンヒーターよりも、電気式のヒーターやエアコンを使用する)
- ・ 発生した結露は拭き取る（仕上げ材表面のカビや、木材の腐食の防止）